

金沢美術工芸大学 大学院特別講義 (公開講座)

「工芸の可能性 そして未来」

講師：四代田辺竹雲齋



日時：10月24日(火) 17:30～19:00

場所：3号館 1F 101講義室 *全学年対象 ※駐車場のご用意はございません。公共交通機関でお越しください。

四代田辺竹雲齋先生 略歴

1973年生まれ(大阪府堺市に三代竹雲齋の次男)

東京芸術大学美術学部彫刻科に進学。在学中は黒竹を用い竹の彫刻を制作。卒業後、大分県別府市 竹工芸訓練支援センターで2年間竹の編組、基礎技術を学ぶ。

その後、実家である大阪府堺市に帰阪し、父三代竹雲齋のもと竹工芸を学ぶ。

2017年 四代田辺竹雲齋を襲名。

四代田辺竹雲齋には代表する2つの作品群がある。一つは代々の技術・精神を受け継ぐ伝統的な作品。日本伝統工芸展を中心に作品を発表しながら大阪、東京等で個展やグループ展を開催。

もう一つは竹によるインスタレーションや現代性の強い竹の立体作品の制作。インスタレーションは「記憶に残すアート」をテーマとして毎回違う場所と形で発表。形は無くなってしまいが、材料である竹は展覧会終了後に解き、再利用され次の作品につないでいく。